

日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会

～ H20 ニュースレター 第2号 ～

平成21年 3月

平成20年度第2回推進協議会を開催しました

平成21年3月10日（火）に三重県尾鷲庁舎で、『日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会を開催しました。

今年度、2回目の推進協議会であり、各団体の活動状況や国・中部地方における日本風景街道の状況を情報共有するとともに、平成21年度に向けての具体的な取組について、意見交換しました。

事務局等からは最近の日本風景街道の動向確認として、昨年11月27日に開催された中部地方風景街道連絡会の報告や本年3月1日に開催された日本風景街道「紀伊半島三県交流会」の概要などが説明されました。



第2回推進協議会の様子

各団体より平成21年度の活動計画の報告がありました

膳、古道魚まち歩観会、交流空間みやま、松本峠・熊野市部会など、日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会の構成団体から、21年度の活動計画の報告がありました。また、東紀州対策室からは、熊野古道世界遺産登録5周年記念に向けたいろいろな事業の取組について説明がありました。

平成21年度の具体的な取組について意見交換しました

昨年11月8日（土）に、熊野川を中心として熊野地域で行われたみちづくり研究会をふりかえりつつ、平成21年度における「みんなで取り組む活動」について意見交換を行いました。

事務局から、平成21年度もみちづくり研究会を継続して実施したいとの提案があり、出席しているみなさんの了解を得ました。みちづくり研究会の概要と今後の進め方は、以下のとおりです。

○実施箇所について

- ・大紀町、紀北町および尾鷲市の中から候補地を選定します。

○実施内容について

- ・まず事務局と大紀町、紀北町、尾鷲市の活動団体が集まって「たたき台」を作成し、平成21年度第1回推進協議会にて各団体に承認を得ることとします。



意見交換会の様子

その他

その他、今後の活動に向けて、次のような意見・課題などが出されました。

- 熊野古道の清掃、保存に苦慮している
- 他のイベントや他の団体との連携・交流を図りたい
- 景観に配慮したガードレールの施工をしてほしい

日本風景街道「紀伊半島三県交流会」が開催されました

平成21年3月1日(日)に和歌山県那智勝浦町の体育文化会館において日本風景街道「紀伊半島三県交流会」が開催されました。この交流会は、紀伊半島地域で日本風景街道に取り組んでいる和歌山県、奈良県、三重県の活動団体が風景街道の取組のヒントを発見すること、活動団体間の交流・連携をつくることを目的に、昨年度、三重県からスタートしました。

当日は下記のルートについてルートの紹介と活動事例の報告があり、「伊勢熊野みち」においては、室谷会長からルート紹介、谷上塾長から熊野川体感塾の取組を報告していただきました。

- 日本風景街道「伊勢熊野みち」(三重)
- 日本文化のクロスロード(奈良)
- 日本風景街道伊勢街道(奈良、三重)
- 日本風景街道まほろば(奈良)
- 日本風景街道熊野(和歌山)



ルート紹介の様子

また、3班に分かれて意見交流が行われ、「現状報告」、「苦労している点」、「問題点・課題」などについて話し合いました。第1班を代表して山本副会長からグループ討議の結果報告をしていただきました。主な意見は次のとおりです。

【主な意見】

- ・夏場の草刈り作業は大変で、なかなか人が集まらない
- ・活動資金を確保するのが大変
- ・郷土愛を育むには子どもの参加が大事で子どもが参加するきっかけづくりが必要
- ・市町レベルの行政マンが、地域に入って国や県へつなげていくことが必要
- ・道の駅を地域の情報発信の拠点としていきたい
- ・みんなで楽しく、地域のみなさんと協働で、身の丈に応じてコツコツと活動していくことが大事

総括として、県境を越えた活動を活発にしているため、今後もこのような交流の場が必要というまとめがあり、交流会が終了しました。



意見交流会の様子



意見交流結果発表の様子

活動をPRしよう

日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会ホームページや資料提供など、皆さんの活動を共有するとともに、幅広くPRしていきます。今後の活動予定を事務局までお知らせ下さい。

<http://www.pref.mie.jp/KEIMACHI/HP/sb/sbindex.htm>

お問い合わせ・連絡先はこちら

【事務局】

◎三重県 県土整備部 景観まちづくり室

(担当：加藤、木本、藤崎)

TEL：059-224-2747

FAX：059-224-3270

Mail：keimachi@pref.mie.jp
